体験交流とSDGsを推進

愛媛県・南予地域

南予でSDGsを自分ごと化
日本屈指の農林漁業営み体験

愛媛県南西部に位置する南予（なんよ）地域は、4市（宇和島市、八幡浜市、大洲市、西予市）、5町（内子町、伊方町、松野町、鬼北町、愛南町）からなり、海、山、川の自然に恵まれ、農林漁業の営みが盛んです。

温暖な気候に恵まれたリアス式海岸では、生産量日本一を誇るマダイやシマアジ、真珠などが養殖されています。また、日本農業遺産に認定（かにん）された「愛媛・南予の柑橘（かんきつ）農業システム」は急傾斜地の段々畑が特徴で、壮大な景観とともに日本一の〝柑橘王国・愛媛〟の屋台骨を担っています。宇和島城や内子、大洲、宇和の古い町並みなど、歴史文化遺産も多く、日本一細長い佐田岬半島や四国西予ジオパーク、滑床や成川の渓谷など多様な自然環境を有しています。

日本農業遺産に認定された柑橘農業システム

■最大400人の受け入れが可能な民泊

南予地域では、豊かな自然と多様な農林漁業の営みを生かした教育旅行プログラム「ふるさと南予感動体験」の受け入れを進めています。その根幹は、最大100軒400人の受け入れが可能な「民泊」にあり、ありのままの暮らしの中、生徒の皆さんをお客さまではなく家族の一員として迎えいれます。

一方「体験」は、日本屈指の農林漁業拠点での食育体験、海山川3拍子の実現に向け、民泊を絡めた「南予版PBL」（課題解決型学習）と、日帰りの「体験型SDGs学習」の二つのプランをご用意しています。「南予版PBL」では、民泊先へのインタビューや、各種体験時の実体験を足がかりに、チームごとにそろった自然を存分に楽しむ自然体験、さらに民泊先家族と一緒に過ごす「ふれあい交流体験」（家業体験）など、多様なプログラムを用意し、季節や希望に応じたコーディネートを実施します。

体験型SDGs学習の一つ、養殖マダイへの餌やり体験

■二つのSDGs学習プラン

南予地域では、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、民泊を絡めた「南予版PBL」（課題解決型学習）と、日帰りの「体験型SDGs学習」の二つのプランをご用意しています。「南予版PBL」では、民泊先へのインタビューや、各種体験時の実体験を足がかりに、チームごとに地域課題の解決策を検討し発表します。「体験型SDGs学習」では、体験プログラムごとにひも付けられたSDGsのターゲットと、グローバル指標について学びを深めます。

船釣り体験

郷土料理づくり体験

例えば、生産量日本一の「養殖マダイへの餌やり体験」では、目標12「つくる責任つかう責任」のターゲット④などについて学びます。

いずれも、SDGsの枠組みの中で生徒自らが身近な事例と結び付けることで、SDGsの〝自分ごと化〟を図ることを狙っています。

■モデルコース

広島平和学習や松山市内班別自主研修との組み合わせが定番です。広島から松山までは高速船で80分、松山から南予各地域まではバスで1～2時間程度です。日中の体験は、民泊先家族と一緒に過ごす「ふれあい交流体験」（家業体験）、各種の農林漁業体験などの「選択体験」のいずれにも対応しています。

⑤⑧などについて、柑橘王国・愛媛での「みかん山整備体験」では、目標2「飢餓をゼロに」のターゲット④および目標15「陸の豊かさも守ろう」のターゲット⑮などについて、体験プログラムは民泊受け入れ家庭の家業にかかわらず、生徒が行いたい体験プログラムを選択できることから、生徒が主体的に学びたいSDGsの目標項目を選択し、SDGs学習に取りのぼります。

■SDGs学習としての体験学習

弊社の特徴の一つとして、体験プログラムは民泊受け入れ家庭の家業にかかわらず、生徒が行いたい体験プログラムを選択できることから、生徒が主体的に学びたいSDGsの目標項目を選択し、SDGs学習に取り

最大200人の受け入れ能力を有する船釣り体験

養殖場での餌やり体験

地区の特色を生かした体験プログラムの一つ、森林間伐

家族の一員として過ごす民泊

一般社団法人　八幡浜市ふるさと観光公社
〒796-8501 愛媛県八幡浜市北浜1-1-1
TEL 0894-22-0855　FAX 0894-22-5653
URL https://furusato-nanyo.com/

高知県・四万十・足摺エリア

日本最後の清流を体験
「主体的・対話で深い学び」でSDGs考える

四国西南部に位置する高知県の四万十・足摺（幡多）地域は、日本最後の清流といわれている「四万十川」を中心に「足摺岬」など山、川、海と多様な自然環境に恵まれた地域です。この豊かな自然環境を生かしたさまざまな体験プログラムを商品化しており、全国に誇れる自然体験型観光の先進地を目指しております。

四万十川でのカヌー体験

■SDGs学習プログラム

自然豊かな幡多地域で、「主体的・対話的で深い学び」を通して、持続可能な社会を未来につなぐために、自分たちは主体的に何ができるかを考えます。

■体験プログラム

体験プログラムは、「何にもないのに、なんでもある」をキーワードに豊かな自然が残っている田舎だからこそできる体験を中心に、食、文化、漁業、農林業など100種類を超える体験プログラムを提供しております。

防災学習で砂浜へ

人気が高い「カツオのわら焼きタタキづくり体験」

■田舎暮らし体験

特に大都市圏の学校から体験できる「田舎暮らし体験」です。現在、受け入れ家庭数は80軒を超え、1日最大300人程度の受け入れが可能となっています。山、川、海に恵まれたこの地域では、自然を知り、触れ合うことで自然とともに生きる力を養うことができます。

■カツオのわら焼きタタキづくり体験

高知の食文化の代表でもあり、一番人気です。漁師のおじさん、おばさんがインストラクターとなり、生徒自らがカツオ1本を丸ごとさばいてわらで焼き、タタキを作って食べます。この体験によりカツオ漁の歴史や高知の食文化などを感じ、食材への感謝の気持ちを育むとともに、魚嫌いの生徒も自然と食べることができるようになります。

自然と人との共生の形を学ぶSDGs

■四万十川カヌー体験

初心者でも安全かつ気軽に体験できます。カヌーから見る自然景観は、日本の原風景とも言えます。最後の清流、四万十川を見ることのできる貴重な体験となります。

■防災学習

地震などの自然災害から身を守り、生きる力を育てるプログラムを用意しています。過去に起こった事例を学ぶのではなく、これから起こり得る近い将来の災害について自分たちがどのような行動ができるかを考え、一人一人の防災意識を高めるためのプログラムとなっております。

■受け入れ態勢

受け入れ窓口の幡多広域観光協議会は、高知県と幡多6市町村（四万十市、宿毛市、土佐清水市、黒潮町、大月町、三原村）で組織し、四万十・足摺地域でしか体験できない豊かな自然、食、伝統文化、生活や人と人との心のつながりを生徒に感じていただける安全で信頼性の高い体験プログラムを提供できるよう、官民が一体となって取り組んでおります。

一般社団法人　幡多広域観光協議会
〒787-0014 高知県四万十市駅前町10―20
TEL 0880-31-0233　FAX 0880-31-0660
E-mail syuryo@hata-koiki.com
URL https://www.hata-kochi.jp/

長崎県・北松浦半島

漁村・農村での民泊体験
松浦党の里の感動体験から学ぶSDGs学習

私たちの活動の舞台は九州の西端、長崎県北部に位置する北松浦半島とその周辺の島々からなる地域です。源平合戦や元寇の折に活躍した「松浦党水軍」の本拠地でもあります。この歴史豊かな土地の生業をまるごと体験できるのが「松浦党の里ほんなもん体験」です。漁村・農村での民泊体験は、ありのままの暮らしや自然の営みの中で家族の一員として過ごし、豊かな心を育む感動のプログラムです。民泊体験の受け入れ能力は最大約200人、8地区からなる受け入れ地区の約80戸の民家が支えています。

■全国有数の漁業体験受け入れ能力

当地域は、対馬暖流と数多くの島々やリアス式海岸からなる複雑な海岸地形の影響により数多くの魚介類に恵まれ、湾や入り江では魚類の養殖業も行われるなど多種多様な漁業が営まれています。この特色を生かしたプログラムが、船釣り、定置網漁、刺網漁、港釣りなどの漁業体験です。体験プログラムに用いる全ての漁船は安全面から遊漁船業法にかかわる遊漁船登録を行っており、その数は約50隻におよび、漁業体験は最大200人の受け入れ能力を有しています。また、そのほかにも多様な生業や地区の特色を生かした味覚体験、農業体験など体験プログラムは約40種類にのぼります。

■SDGs学習としての体験学習

弊社の特徴の一つとして、体験プログラムは民泊受け入れ家庭の家業にかかわらず、生徒が行いたい体験プログラムを選択できることから、生徒が主体的に学びたいSDGsの目標項目を選択し、SDGs学習に取り組むことが可能です。例えばSDGs14「海の豊かさを守ろう」という項目に対して学びたい人は、船釣り体験や養殖場の餌やり体験、定置網漁体験などを選択し、それらの体験に対して事前学習および質問項目などを生徒が考え、体験当日の体験プログラム実施をする中で、初めて出会う地元の漁師など体験インストラクターに質問をしながら、友達と対話を行い、行動して考え、主体的なSDGs学習を行うことができます。

■体験型教育旅行が秘める可能性

「松浦党の里ほんなもん体験」での体験型修学旅行は、体験や民泊での交流を通してコミュニケーション能力や生きる力を育むことはもとより、SDGs学習に適したプログラムを通して1次産業や田舎の現状を見て、聞いて、触れていただき、日本の地方が抱える問題、相対的に都市部が抱える課題について主体的に深く学ぶ機会につながることを願っております。

一般社団法人　まつうら党交流公社
〒859-4778 長崎県松浦市御厨町田代免601
TEL 0956-41-7171　FAX 0956-75-3001
Email:kouryu-1ban@matsuurato.jp
URL:https://www.honmono-taiken.jp/

長崎県・五島市

SDGs考える体験を
「五島感動しま旅！」

五島市体験交流協議会では、豊かな自然と多様な農林漁業の営み、歴史や文化を生かした体験交流型教育旅行の受け入れを行っており、「五島感動しま旅！」と銘打った一連のプログラムは、地域に暮らす人の生業や生活を一緒に体験したり、地域の自然や歴史をともに楽しんだりといったそこでしか味わえない「ほんもの体験」にこだわっている。市内全域で最大60軒240人までの受け入れが可能となっている。

日本一美しい砂浜　高浜海水浴場（日本の渚100選・海水浴場100選）

◆SDGsへの取り組み

本協議会では、SDGsの各目標について、深く考えるきっかけとなるような体験プログラム構築に取り組んでいる。

その一つが崎山沖で展開されている、浮体式洋上風力発電所「はえんかぜ」である。全長172㍍、重さ3400㌧という巨大な風力発電所であるが、環境への影響は小さく、むしろ海洋生物の漁礁として良い影響を与えていることが明らかとなり、「⑭海の豊かさを守る」役目も担っている。

加えて「はえんかぜ」は再生可能エネルギーとしての位置づけや、世界が掲げている50年カーボンニュートラル・ゼロカーボンシティにむけての期待も高まっており、「⑦エネルギーをみんなにそしてクリーンに」届けることができる。本協議会では、「はえんかぜ」を船上から実際の様子を見学するプログラムを構築中である。その後は付近で船釣りを楽しんでいただき、洋上風力発電所としての役目、海洋資源への良い影響を実感できる体験となっている。

浮体式洋上風力発電施設（崎山漁港沖）＝国内初となる浮体式風力発電施設となった「はえんかぜ」

本協議会では、他にもSDGsの各目標にそった体験プログラム構築に取り組んでいる。令和4年に五島列島（下五島）エリアが、豊かな自然、人の歴史や文化、産業の象徴として日本ジオパークに認定されたこともあり、世界中から注目をあびている。五島内の地域でそれぞれ異なる自然の姿、各地域で古くから受け継がれてきたお祭りや郷土料理など、今でも五感で感じることができる。

本協議会では、中でも五島を代表する「高浜海水浴場」「鬼岳」「鐙瀬熔岩海岸」を巡るプログラムを構築している。

「高浜海水浴場」では、遠浅の透き通ったコバルトブルーの海、白い砂浜が眼前に広がり、一度見た人の心に大きな感動を与えてくれる。

変わって「鐙瀬熔岩海岸」では、荒々しい溶岩海岸を見ることができる。この溶岩海岸は、鬼岳と火ノ岳から流れてきた溶岩で形成されており、「ハワイ」のような景観を作り出している。周辺には「鐙瀬ビジターセンター」があり、下五島の自然に関する知見を得ることができる。

「鬼岳」は、五島を代表するシンボルとして古くから愛されており、人々にとっての憩いの場ともなっている。これらを含む五島の自然が日本ジオパークに選ばれたことにより、「⑮陸の豊かさも守ろう」という目標にもより関心が向けられることになった。

本協議会では、これらの体験を含め、五島内の自然や環境に関心を向けた体験を提供し、未来ある子どもたちに五島でしか味わうことができない感動を与え続けていきたい。

船釣り体験（市内全地区）＝漁船に乗り、海上沖で魚を釣る人気の体験。五島市は「釣りの聖地」といわれている。

五島市体験交流協議会
株式会社ＪＳＨ
（担当：北川拓男、大和田絢）
つばきねこ
〒853-0005　長崎県五島市末広町3-4
TEL 0959-76-3600　FAX 0959-88-9346
URL https://www.goto-shimatabi.com/
Email:jsh-travel@jsh-japan.jp